

2020年11月20日
Peach Aviation 株式会社

名古屋(中部)ー沖縄(那覇)、石垣線を開設 ～中部国際空港から計4路線、Peachのネットワークがますます広がります～

- ・ 2021年1月22日より毎日、沖縄(那覇)線、石垣線ともに1往復運航
- ・ 名古屋(中部)ー沖縄(那覇)線 4,590円～、石垣線 7,490円～
- ・ 本日16:00より、航空券の販売を開始

Peach Aviation 株式会社(以下: Peach、代表取締役 CEO: 森 健明)は本日、2021年1月22日(金)より名古屋(中部)ー沖縄(那覇)線、名古屋(中部)ー石垣線を1日1往復で開設することを発表しました。

航空券の販売は本日16:00より開始します。運賃は沖縄(那覇)線が4,590円から、石垣線が7,490円からです。



名古屋(中部)ー沖縄(那覇)、石垣線の開設により、Peachの中部国際空港発着路線は札幌(新千歳)、仙台線(いずれも12月24日開設を発表済)と合わせて計4路線に拡大します。Peachの国内線全路線数は今年度新たに8路線*が加わり計30路線へと充実し、ますます便利にご利用いただけるようになります。

Peach 代表取締役 CEO の森 健明は「先日発表した名古屋(中部)ー札幌(新千歳)、仙台線に続き、沖縄(那覇)、石垣線を就航することとなりました。新型コロナウイルスの感染対策を大前提に、低運賃による気軽な空の旅を安定的に提供し続けること、そして地域と地域を結ぶことが私たち Peach の使命と考えております。また、Peach は感染抑制と経済活動の両輪を回すことが重要と考え、最近では一部の路線で抗原検査後に国内線を利用いただくサービスを試験的に導入しました。航空業界を取り巻く厳しい環境を乗り越え、Peach は感染抑制と経済活動を両立した新しい旅のスタイルを確立してまいります」と述べています。

今後も Peach は感染対策を徹底しつつ地域と地域を結ぶかけ橋として低運賃による気軽な旅を提供しつづけ、航空ネットワークの拡大を進めてまいります。

*今回発表の2路線を含む。

<運航スケジュール(予定)>

名古屋(中部)ー沖繩(那覇)線

期間:2021年1月22日~2021年3月27日

便名	名古屋(中部)発	沖繩(那覇)着
MM481	7:25	9:55

便名	沖繩(那覇)発	名古屋(中部)着
MM482	10:35	12:35

名古屋(中部)ー石垣線

期間:2021年1月22日~2021年3月27日

便名	名古屋(中部)発	石垣着
MM487	13:25	16:25

便名	石垣発	名古屋(中部)着
MM488	17:05	19:25

<運賃(予定)>

名古屋(中部)ー沖繩(那覇)線: 4,590円~31,190円(シンプルピーチ/片道)

名古屋(中部)ー石垣線: 7,490円~48,990円(シンプルピーチ/片道)

<特記事項>

- ・上記運賃は1席あたりのシンプルピーチ片道運賃(消費税込み)です。
- ・支払手数料、空港使用料等が別途必要となります。
- ・手荷物のお預け、座席指定には別途料金がかかります。
- ・コンタクトセンター、空港カウンターにてご購入の場合、別途予約手数料がかかります。
- ・運賃額は空席状況によって変動し、ご購入時点で有効な金額が適用されます。
- ・運賃額・ご利用条件は予告なく変更および追加設定する場合がございます。

<販売開始日時>

11月20日(金)16:00~

<参考情報>

◎名古屋(中部)発着路線

国内線(4路線)

- ・札幌(新千歳)、仙台 (2020年12月24日就航予定)
- ・沖繩(那覇)、石垣 (2021年1月22日就航予定)

・中部国際空港への就航を発表 ~名古屋(中部)ー札幌(新千歳)線、仙台線を開設~

<https://corporate.flypeach.com/cms/wp-content/uploads/2020/10/201021-1-Press-Release-J.pdf>

・感染対策に関する特設ページ

https://www.flypeach.com/information/jp/infection_control/

・新型コロナウイルス抗原検査サポートオプション特設ページ

https://www.flypeach.com/mp/others/antigentest_support

Peachについて(www.flypeach.com)

Peachは、2012年3月に関西空港を拠点として運航を開始しました。現在、関西空港に加え、新千歳、仙台、成田、福岡、那覇空港を拠点空港とし、32機の機材で、国内線26路線、国際線17路線に就航しています。12月24日より中部国際空港から札幌(新千歳)/仙台ー名古屋(中部)線の運航を開始し、新たに中部国際空港を拠点空港とします。10月25日からは大阪(関西)/東京(成田)/東京(羽田)ー台北(桃園)の国際線の運航を再開し「アジアのリーディングLCC」を目指すとともに、首都圏および関西を中心に各地からの路線網を拡大しています。なお、成田空港では10月25日より乗り入れターミナルを第3ターミナルから第1ターミナルに移転し、国内線は第1ターミナル(南)1階、国際線は4階(北Bカウンター)にて出発手続きを行っています。関西空港では国内線は全便第2ターミナル、国際線では出発が第2ターミナル、到着が第1ターミナルとなります。